

修了生の活躍事例

ポリテクで人生変わりました！

前職のシステムエンジニアを退職後、技術を身に付けられる仕事を探していたところ、『溶接』の仕事に興味を持ちました。仕事の奥深さ、若手の溶接工の減少、ものづくりには欠かせない仕事であること、自分が若手の溶接工になって社会貢献することも良いと考え、未経験者からでも訓練を経て就職実績のあるポリテクセンターで学ぶことを決めました。溶接の技術はもちろん、仕事で飛び交う専門用語も知っているためどのような仕事でもスムーズに馴染めました。技術だけではなく、『溶接の原理』、『溶接ワイヤの種類・特徴』など細かなことも学べたことは大きいと感じています。

また、一緒に学び応援し合う仲間がいたことも訓練を受講して良かったと思うことです。訓練でうまくできないところを共有したり、就職活動で互いに応援し合ったり。訓練を通して、やりたい仕事も見つけ再就職することができました。訓練を受講し身に付けた知識と経験は私にとってかけがえのないものになっています。



就職先企業での活躍

溶接後の寸法確認

澤柳さんの業務

当社は主に薄板の板金加工を行っております。私はその中で、TIG溶接と半自動溶接を担当しております。ポリテクセンターで学んだ知識と技術が直に活かされる仕事で、非常にやりがいをもって日々の業務にあたっています。

芝原工業株式会社

澤柳 直人 さん (29歳)

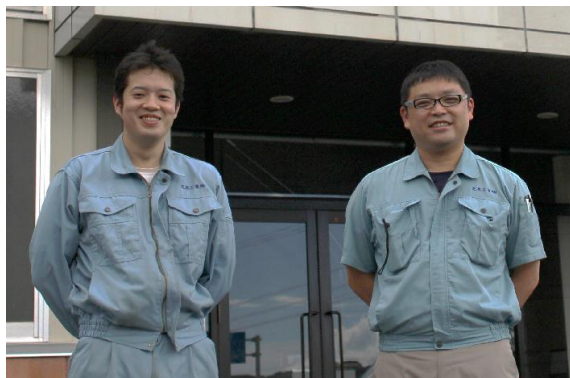
[⇒前職：システムエンジニア]

ものづくり溶接科

(6か月訓練)

平成30年 3月 入所

平成30年 8月 修了



澤柳さん(左)と芝原社長(右)

将来へむけて、一歩踏み出す勇気をもって

就職後2年ほど経過しましたが、まだまだ技術的に未熟なところもたくさんあります。訓練ではないですが、毎日が勉強です。将来的には、チームや会社を引っ張っていけるような人材になることを目標に、これからも努力していきたいと考えています。

再就職に向けて自分自身が何をしたいのか分からずに悩んでいる人が多いと思います。何もせずに悩んでいるのは勿体ないと思います。少しでも興味がある、やってみたいと思うコースがあればぜひポリテクセンターでの訓練受講をお勧めします。先生やクラスの仲間との新しい出会いが、私のように人生を大きく変えてくれると思います。

採用者の声 代表取締役 芝原 利幸 様

溶接の基本を学んでいるため、就業後すぐに簡易な製品から溶接を任せることができました。徐々に難易度の高い製品へも挑戦しており、実践を通じての技術習得も早いです。元々溶接に興味を持っており、積極的に技術を学んでいるため、職場内での評価も高く、一緒に働けることが嬉しいです。溶接などの職人技に興味を持つ若者が減っているため、ポリテクセンターには基礎教育をしっかり行い、送り出して頂けることに感謝しています。

芝原工業株式会社 (静岡県磐田市匂坂中1600-30)

日本の機械設備メーカーに求められる、高品質な板金製品を製作している会社です。最新鋭の設備が稼働しているとともに、機械ではできない職人技も大切にする事で高い次元で最新設備と職人技が融合したものづくりを目指しています。

ロボットやAIに置き換わりにくい、溶接技術をコア技術として、板金加工の将来を見据えて積極的に挑戦している会社です。

